

レジメン番号： 05-001 / 乳腺1

適応疾患： 乳癌

レジメン名： CMF

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	×	
2	メソレキセート 生食(100) 点滴静注 30分	40 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	×	
3	5-FU 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	×	
	エンドキサン ※1 経口 1日1回朝食後に内服	100 mg/m ² /日	day1~14				

※1 エンドキサン錠(50)の投与量は、体表面積に応じて以下に従う。

1.5 m²未満:100 mg (2T)/日

1.5 m²以上:150 mg (3T)/日

レジメン番号： 05-002 / 乳腺2
 適応疾患： 乳癌
 レジメン名： EC

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 A 1 V 1 B	↑	×	×	
2	エピルビシン ※1 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	75 or 90 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) ソルデム1(200) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1 V 1 B	↑	×	×	
4	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 制吐療法として、治療翌日以降は必要に応じてデカドロン錠(0.5)を内服する。

※1 術前・術後化学療法:90 mg/m²、転移・再発症例:75 mg/m²とする。

レジメン番号： 05-005 / 乳腺5

適応疾患：乳癌

レジメン名：TC

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 15分	2 V 1 A 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆制吐療法として、day2～3はデカドロン錠(0.5)を1日16T服用する(適宜増減可)。

レジメン番号： 05-006 / 乳腺6

適応疾患： 乳癌

レジメン名： Triweekly パクリタキセル

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	×	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	2 V 1 A 1 B	↑	×	×	
2	生食(100) 点滴静注 30分	1 B	↑	×	×	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(500) 点滴静注 180分	200 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号：05-007 / 乳腺7

適応疾患：乳癌

レジメン名：Triweeklyドセタキセル

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	2 V 1 A 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	生食(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

レジメン番号： 05- 009 / 乳腺9

適応疾患： 乳癌

レジメン名： Weekly パクリタキセル(3投1休)

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	↑	↑	×	
2	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	↑	×	
3	パクリタキセル ソルデム1(200) 点滴静注	※1 60~100 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05-019 / 乳腺19

適応疾患： 乳癌

レジメン名： ロゼウス

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ロゼウス ※1 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	25 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	ソルデム1(200) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 血管痛予防のため、必ず全開で投与し、投与後は十分な量の輸液でフラッシュする。

レジメン番号： 05-021 / 乳腺21

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： トラスツズマブBS(3週毎)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	トラスツズマブBS	初回	8 mg/kg	↑	×	×
		2回目以降	6 mg/kg			
	蒸留水(100)・・・溶解用		1 B			
	生食(250)		1 B			
	点滴静注	初回90分、2回目以降30分				
2	生食(50)		1 B	↑	×	×
	点滴静注	全開でフラッシュ				

レジメン番号： 05-023 / 乳腺23

適応疾患： 乳癌

レジメン名： マイトマイシンC+メソトレキセート

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	×	↑	×	
2	マイトマイシン 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(100) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	8 mg/m ² 1 B 1 B	↑	×	×	×	
3	メソトレキセート 生食(100) 点滴静注 30分	60 mg/m ² 1 B	↑	×	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	↑	×	

レジメン番号： 05-025 / 乳腺25

適応疾患： 乳癌

レジメン名： ゲムシタビン(2投1休)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1250 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号： 05-026 / 乳腺26

適応疾患： 乳癌

レジメン名： アブラキサン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	アブラキサン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	260 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 インラインフィルター使用不可。

レジメン番号： 05-028 / 乳腺28
 適応疾患： 乳癌
 レジメン名： パクリタキセル+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	×	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	2 V 1 A 1 V 1 B	↑	×	×	
2	生食(100) 点滴静注 30分	1 B	↑	×	×	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(500) 点滴静注 180分	175 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	カルボプラチン ※2 生食(250) 点滴静注 60分	6 (AUC) 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

※2 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量＝目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 05-029 / 乳腺29

適応疾患： 乳癌

レジメン名： ドセタキセル+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	2 V 1 A 1 V 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	カルボプラチン ※1 生食(250) 点滴静注 60分	6 (AUC) 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量＝目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 05-033 / 乳腺33

適応疾患： 乳癌

レジメン名： ハラヴェン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ハラヴェン 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1.4 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

レジメン番号： 05-034 / 乳腺34

適応疾患： 乳癌

レジメン名： Weekly パクリタキセル+アバスチン

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	↑	↑	×	
2	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	↑	×	
3	パクリタキセル ソルデム1(200) 点滴静注	※1 90 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	↑	×	
4	アバスチン 生食(100) 点滴静注	10 mg/kg 1 B 初回90分、2回目60分、以降30分	↑	×	↑	×	
5	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号：05-035 / 乳腺35

適応疾患：HER2陽性乳癌

レジメン名：ハラヴェン+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ハラヴェン 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1.4 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	
4	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

レジメン番号： 05-036 / 乳腺36

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： ドセタキセル+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B 初回60分、2回目以降30分	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B 1 B 初回90分、2回目以降30分	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	2 V 1 A 1 B 15 分	↑	×	×	
4	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注	75 mg/m ² 1 B 60 分	↑	×	×	
5	生食(100) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	×	×	

◆ 術前・術後療法の場合には、パージェタおよびトラスツズマブBSの投与期間は12ヶ月間までとする。

レジメン番号： 05-038 / 乳腺38

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： カドサイラ

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	カドサイラ ※1 蒸留水(20)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	3.6 mg/kg 1 A 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 術後化学療法の場合には、投与回数は14回までとする。

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

レジメン番号： 05- 039 / 乳腺39

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： パクリタキセル(毎週)+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B 初回60分、2回目以降30分	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B 1 B 初回90分、2回目以降30分	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	↑	↑	
4	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	↑	
5	パクリタキセル ソルデム1(200) 点滴静注	※1,2 60~100 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	↑	
6	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

※2 海外Phase II studyではパクリタキセル 80mg/m²

レジメン番号： 05-040 / 乳腺40

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： TC+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 15分	2 V 1 A 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	トラスツズマブBS 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 制吐療法として、day2～3はデカドロン錠(0.5)を1日16T服用する(適宜増減可)。

レジメン番号： 05-041 / 乳腺41

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： ドセタキセル+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	2 V 1 A 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	生食(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
4	トラスツズマブBS 初回 2回目以降 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	8 mg/kg 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

レジメン番号： 05-042 / 乳腺42

適応疾患： 乳癌

レジメン名： dose dense EC

化学療法内容

(1コース 2 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)		
			1	8	14
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 A 1 V 1 B	↑	×	
2	エピルビシン 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	90 mg/m ² 1 B	↑	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) ソルデム1(200) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1 V 1 B	↑	×	
4	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	

◆ 化学療法終了24時間後以降にジーラスタを投与する。

◆ 制吐療法として、治療翌日以降は必要に応じてデカドロン錠(0.5)を内服する。

レジメン番号：05-043 / 乳腺43

適応疾患：乳癌

レジメン名：Weekly パクリタキセル(毎週)

化学療法内容

(1コース 1 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)	
			1	7
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	
2	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(200) 点滴静注	80 mg/m ² 1 B 60 分	↑	
4	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	

◆ 計12回投与する。

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05-045 / 乳腺45

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： ドセタキセル+カルボプラチン+トラスツズマブBS(3週毎)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	2 V 1 A 1 V 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	カルボプラチン ※1 生食(250) 点滴静注 60分	6 (AUC) 1 B	↑	×	×	
4	トラスツズマブBS 初回 2回目以降 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	8 mg/kg 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量＝目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 05-046 / 乳腺46

適応疾患： 乳癌

レジメン名： AC

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	×	
2	ドキシソルビシン 生食(50) 点滴静注 15分	60 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 制吐療法として、治療翌日以降は必要に応じてデカドロン錠(0.5)を内服する。

レジメン番号： 05-047 / 乳腺47

適応疾患： 乳癌

レジメン名： トポテシン(添付文書A法)

化学療法内容

(1コース 5 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)					
			1	8	15	22	29	35
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) グラニセトロンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	↑	↑	×	×	
2	トポテシン ソルデム1(200) 点滴静注 90分	100 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	×	

レジメン番号： 05-048 / 乳腺48

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： TC+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注 初回60分、2回目以降30分	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 15分	2 V 1 A 1 B	↑	×	×	
4	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
5	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
6	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

- ◆ 術前・術後療法の場合には、パージェタおよびトラスツズマブBSの投与期間は12ヶ月間までとする。
- ◆ 制吐療法として、day2～3はデカドロン錠(0.5)を1日16T服用する(適宜増減可)。

レジメン番号： 05-049 / 乳腺49

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： ドセタキセル+カルボプラチン+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	パージェタ 初回 2回目以降 生食(250) 点滴静注 初回60分、2回目以降30分	840 mg/body 420 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 初回 2回目以降 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	8 mg/kg 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	2 V 1 A 1 V 1 B	↑	×	×	
4	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
5	カルボプラチン ※1 生食(250) 点滴静注 60分	6 (AUC) 1 B	↑	×	×	
6	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 術前・術後療法の 경우에는、パージェタおよびトラスツズマブBSの投与期間は12ヶ月間までとする。

※1 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量 = 目標AUC × (25 + GFR)

レジメン番号：05-050 / 乳腺50

適応疾患：乳癌

レジメン名：dose dense パクリタキセル

化学療法内容

(1コース 2 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)		
			1	8	14
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	※1 2 V 1 V 1 B 15 分	↑	×	
2	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	×	
3	パクリタキセル ソルデム1(500) 点滴静注	※2 175 mg/m ² 1 B 3 時間	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	×	

◆ day2またはday3にジーラスタを併用する。

※1 初回投与は2V、忍容性良好ならば2回目以降1Vに減量可。

※2 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 053 / 乳腺53

適応疾患： PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌

レジメン名： テセントリク+アブラキサン

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	テセントリク 生食(250) 点滴静注	※1 840 mg/body 1 B 初回60分、2回目以降30分	↑	×	↑	×	
2	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	×	↑	×	
3	アブラキサン 生食(50) 点滴静注	※2 100 mg/m ² 1 B 30 分	↑	↑	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。初回投与時60分、忍容性良好ならば2回目以降30分に短縮可。

※2 インラインフィルター使用不可。

レジメン番号： 05-054 / 乳腺54
 適応疾患： HER2陽性乳癌
 レジメン名： ゲムシタビン+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1250 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	
4	トラスツズマブBS 初回 2回目以降 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	8 mg/kg 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号： 05-056 / 乳腺56

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： アブラキサン+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	22
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注 初回60分、2回目以降30分	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
4	アブラキサン 生食(100) 点滴静注 30分	※1 260 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 インラインフィルター使用不可。

レジメン番号： 05-057 / 乳腺57

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： エンハーツ

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	×	×	
2	5%ブドウ糖(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
3	エンハーツ ※1 蒸留水(20)・・・溶解用 5%ブドウ糖(100) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	5.4 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
4	5%ブドウ糖(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 制吐療法としてday2～3はデカドロン錠(0.5)を1日16T服用する(適宜増減可)。

※1 エンハーツ投与時はインラインフィルターを用い、点滴バッグを遮光する。

レジメン番号： 05-058 / 乳腺58

適応疾患： 乳癌

レジメン名： ゲムシタビン+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) グラニセトロンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	カルボプラチン ※2 生食(250) 点滴静注 60分	2 (AUC) 1 B	↑	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

※2 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量 = 目標AUC × (25 + GFR)

レジメン番号： 05- 059 / 乳腺59

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： パクリタキセル(3週毎)+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	×	×	
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B 初回60分、2回目以降30分	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B 1 B 初回90分、2回目以降30分	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	2 V 1 A 1 B 15 分	↑	×	×	
4	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	×	×	
5	パクリタキセル ソルデム1(500) 点滴静注	※1 175 mg/m ² 1 B 180 分	↑	×	×	
6	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	×	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05-060 / 乳腺60

適応疾患：PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発

レジメン名：キイトルーダ(3週毎)+ゲムシタビン+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	キイトルーダ ※1 生食(100) 点滴静注 30分	200 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) グラニセトロンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	↑	×	
3	ゲムシタビン ※2 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
4	カルボプラチン ※3 生食(250) 点滴静注 60分	2 (AUC) 1 B	↑	↑	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

※3 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量 = 目標AUC × (25 + GFR)

レジメン番号： 05- 061 / 乳腺61

適応疾患：PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌

レジメン名：キイトルーダ(3週毎)+パクリタキセル

化学療法内容

(1コース 12 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)											
			1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注	※1 200 mg/body 1 B 30 分	↑	×	×	↑	×	×	↑	×	×	↑	×	×
2	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
3	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
4	パクリタキセル ソルデム1(200) 点滴静注	※2 90 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
5	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 062 / 乳腺62

適応疾患：PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌

レジメン名：キイトルーダ(3週毎)+アブラキサン

化学療法内容

(1コース 12 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)											
			1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注 30分	※1 200 mg/body 1 B	↑	×	×	↑	×	×	↑	×	×	↑	×	×
2	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
4	アブラキサン 生食(50) 点滴静注 30分	※2 100 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 インラインフィルター使用不可。

レジメン番号： 05- 063 / 乳腺63

適応疾患： PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発

レジメン名： キイトルーダ(6週毎)+ゲムシタビン+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 6 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)					
			1	8	15	22	29	36
1	キイトルーダ ※1 生食(100) 点滴静注 30分	400 mg/body 1 B	↑	×	×	×	×	×
2	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) グラニセトロンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	↑	×	↑	↑	×
3	ゲムシタビン ※2 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	↑	↑	×
4	カルボプラチン ※3 生食(250) 点滴静注 60分	2 (AUC) 1 B	↑	↑	×	↑	↑	×
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	↑	↑	×

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

※3 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量=目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 05- 064 / 乳腺64

適応疾患：PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌

レジメン名：キイトルーダ(6週毎)+パクリタキセル

化学療法内容

(1コース 12 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)											
			1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注	※1 400 mg/body 1 B 30 分	↑	×	×	×	×	×	↑	×	×	×	×	×
2	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
3	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
4	パクリタキセル ソルデム1(200) 点滴静注	※2 90 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
5	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 065 / 乳腺65

適応疾患：PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌

レジメン名：キイトルーダ(6週毎)+アブラキサン

化学療法内容

(1コース 12 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)											
			1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78
1	キイトルーダ ※1 生食(100) 点滴静注 30分	400 mg/body 1 B	↑	×	×	×	×	×	↑	×	×	×	×	×
2	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
4	アブラキサン ※2 生食(50) 点滴静注 30分	100 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 インラインフィルター使用不可。

レジメン番号： 05- 066 / 乳腺66

適応疾患： ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌

レジメン名： キイトルーダ+パクリタキセル(毎週)+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注	※1 200 mg/body 1 B 30 分	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注	1 V 1 A 1 V 1 B 30 分	↑	×	×	
4	デキサート(6.6mg/2mL) ガスター(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	×	↑	↑	
5	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	↑	
6	パクリタキセル ソルデム1(200) 点滴静注	※2 80 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	↑	
7	カルボプラチン 生食(250) 点滴静注	※3 5 (AUC) 1 B 60 分	↑	×	×	
8	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	

◆ 術前化学療法として4コース行う。

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

※3 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量＝目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 05- 067 / 乳腺67

適応疾患： ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌

レジメン名： キイトルーダ+EC

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	キイトルーダ ※1 生食(100) 点滴静注 30分	200 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	×	
4	エピルビシン 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	90 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
5	デキサート(6.6mg/2mL) ソルデム1(200) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1 V 1 B	↑	×	×	
6	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
7	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 術前化学療法として4コース行う。

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

レジメン番号： 05- 068 / 乳腺68

適応疾患： ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌

レジメン名： キイトルーダ(3週毎)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	キイトルーダ ※1 生食(100) 点滴静注 30分	200 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 術後化学療法として9回までとする。

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

レジメン番号： 05-069 / 乳腺69

適応疾患： ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌

レジメン名： キイトルーダ(6週毎)

化学療法内容

(1コース 6 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)						
			1	8	15	22	29	36	42
1	キイトルーダ ※1 生食(100) 点滴静注 30分	400 mg/body 1 B	↑	×	×	×	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	×	×	×	

◆ 術後化学療法として5回までとする。

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。